

FRIS/TI-FRIS

Vol.54

Vol.38

Hub Meeting

発表者：Madoka Ichikawa-Seki (Assoc. Prof.)

関 まどか 准教授

(岩手大学 / 生命・環境 / TI-FRIS フェロー)

肝蛭の *in vitro* 培養系確立への挑戦

— 幼虫は *in vitro* でどこまで成長するか？

Challenge to establish an *in vitro* culture system for liver flukes

— Is it possible to mature juveniles in *in vitro* culture conditions?

Summary

*発表言語：日本語

ヒトや動物に感染する寄生虫は、マラリアに代表される単細胞生物の原虫類と、多細胞生物である吸虫、条虫、線虫を含む蠕虫（ぜんちゅう）類に大別される。原虫類では *in vitro* 培養系の確立を契機に、薬剤やワクチンの開発研究が飛躍的に進展した。一方、蠕虫類の発育を *in vitro* で再現することは不可能とされ、研究開発上のボトルネックになっている。本研究では、プラナリア研究との学際融合により実現した「有性化因子の添加」という新規アプローチにより、吸虫の一種である肝蛭（かんてつ）を用いた *in vitro* 培養系の確立を目指す。

第54回 FRISハブミーティング/第38回 TI-FRISハブミーティング

2024.

5.24

16:00 -



参加登録